

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
A-1	<p>【目標】 円滑化対策エリア内の特定道路において、信号機柱及び信号灯器の改良、適正な位置への移設、標識・標示の整備を行い、交通の安全と円滑化を図る。</p> <p>【指標】 整備が必要な円滑化対策エリア内の信号機柱及び信号灯器の改良・移設、標識・標示の整備率（整備率＝整備済箇所/要整備箇所×100） ※箇所を事業予算額に置き換えて設定し、算出</p> <p>【目標値】 現況値 0% 最終目標値 100%</p>	H27	—	[H27]A [H27補正]A	
C-1	<p>【目標】 構造上危険な状態にある公立幼稚園、義務教育諸学校、特別支援学校及び高等学校の校舎を改築し、児童生徒等の安全を守り、安心で豊かな教育環境を整備する。</p> <p>【定量的指標】 市町村立学校の構造上危険な状態にある建物の改築（27校（13園））</p>	H27	—	[H27] C-1のNo. 17～43	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
C-2	<p>【目標】 教育を行うのに著しく不適當な建物で特別な事情のあるものについて、公立幼稚園及び義務教育諸学校の校舎を改築し、教育機能の向上及び校地の有効利用等の観点から教育条件の改善を図る。</p> <p>【定量的指標】 市町村立学校の不適當改築（7校（4園））</p>	H27	—	[H27] C-2のNo. 44～50	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
C-3	<p>【目標】 経年により、通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置及び建物の用途変更に伴う改築等を行うことにより教育環境の改善を図り、もって学校教育の円滑な実施に資するとともに、併せて建物の耐久性の確保を図る。</p> <p>【定量的指標】 市町村立学校の大規模改造（老朽）（1校（0園））</p>	H27	—	[H27] C-3のNo. 51	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
C-4	<p>【目標】 経年により、通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置及び建物の用途変更に伴う改築等を行うことにより教育環境の改善を図り、もって学校教育の円滑な実施に資するとともに、併せて建物の耐久性の確保を図る。</p> <p>【定量的指標】 市町村立学校の大規模改造事業（質的整備）（3施設）</p>	H27	—	[H27] C-4のNo. 56～60	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
C-5	<p>【目標】 子ども達の最も身近にある学校の屋外環境を様々な体験活動の場として活用し、たくましく心豊かな子ども達を育成するため、屋外環境の一体的な整備充実を図る。</p> <p>【定量的指標】 市町村立学校の屋外教育環境の整備に関する事業（運動場）（2校）</p>	H27	—	[H27] C-6のNo. 64～65	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
C-6	<p>【目標】 公立幼稚園における教室の不足を解消するための園舎の新築又は増築により教育の円滑な実施を確保する。</p> <p>【定量的指標】 幼稚園の園舎の新増築（14園）</p>	H27	—	[H27] C-13のNo. 67～71 C-13のNo. 73～81	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
C-7	<p>【目標】 学校給食の普及充実及び安全な学校給食の実施を図るため、公立の義務教育諸学校及び沖縄県の夜間定時制高等学校における学校給食施設を整備する。</p> <p>【定量的指標】 学校給食施設の新増築（2箇所）</p>	H27	—	[H27] C-16のNo. 83～84	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
C-8	<p>【目標】 学校給食の普及充実及び安全な学校給食の実施を図るため、公立の義務教育諸学校及び沖縄県の夜間定時制高等学校における学校給食施設を整備する。</p> <p>【定量的指標】 学校給食施設の改築（4箇所）</p>	H27	—	[H27] C-17のNo. 85～88	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
C-9	<p>【目標】 学校教育上支障の無い範囲で、一般に開放するよう配慮された義務教育諸学校の水泳プール及び利用期間の延長等を図るための屋外水泳プールを整備する。</p> <p>【定量的指標】 市町村立学校の学校水泳プールの整備に関する事業（5校）</p>	H27	—	[H27] C-18のNo. 89～93	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
C-10	<p>【目標】 経年により、通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置及び建物の用途変更に伴う改築等を行うことにより教育環境の改善を図り、もって学校教育の円滑な実施に資するとともに、併せて建物の耐久性の確保を図る。</p> <p>【定量的指標】 市町村立学校の防災機能の強化に関する事業（3校（0園））</p>	H27	—	[H27] C-23のNo. 94～96	沖縄21世紀ビジョン実施計画 2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
C-11	<p>【目標】 構造上危険な状態にある県立学校の校舎を改築し児童生徒等の安全を守り、安心して豊かな教育環境を整備する</p> <p>【定量的指標】 県立学校の構造上危険な状態にある建物の改築（7校）</p>	H27	H26	[H26] C-1の No. 6, 8, 10, 12, 14, 15, 145 [H27] C-1のNo. 1～7	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
C-12	<p>【目標】 構造上危険な状態にある県立学校の校舎を改築し児童生徒等の安全を守り、安心して豊かな教育環境を整備する</p> <p>【定量的指標】 県立学校の構造上危険な状態にある建物の改築（8校）</p>	H28	—	[H27] C-1のNo. 8, 10～15, 126	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
C-13	<p>【目標】 経年による学校建物の損耗等に対する復旧措置及び建物の用途変更に伴う改築等を行うことにより教育環境の改善を図り、もって学校教育の円滑な実施及び建物の耐久性確保を図る。</p> <p>【定量的指標】 県立学校の大規模改造事業（質的整備）（3校）</p>	H27	—	[H27] C-4のNo. 52～54	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
C-14	<p>【目標】 子ども達の最も身近にある学校の屋外環境を様々な体験活動の場として活用し、たくましく心豊かな子ども達を育成するため、屋外環境の一体的な整備充実を図る。</p> <p>【定量的指標】 県立学校の屋外教育環境の整備に関する事業（運動場）（3校）</p>	H27	—	[H27] C-6のNo. 61, 62, 127	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
C-15	<p>【目標】 県立学校における教室の不足を解消するための校舎の新築又は増築により教育の円滑な実施を確保する。</p> <p>【定量的指標】 県立学校の校舎の新増築（1校）</p>	H27	—	[H27] C-12のNo. 128	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
C-16	<p>【目標】 産業教育のための施設等を整備することにより、産業教育を通じて、勤労に対する正しい信念を確立し、産業技術を習得させるとともに工夫創造の能力を養い、もって経済自立に貢献する有為な国民の育成を図る。</p> <p>【定量的指標】 県立学校の産業教育施設整備事業（一般施設整備2校）</p>	H27	—	[H27] C-15のNo. 82, 129	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進

平成 27 年度沖縄振興公共投資交付金に係る成果目標

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
C-17	<p>【目標】 学校施設について、発災時における児童生徒のための応急避難場所としての必要な機能が発揮できるよう、防災機能の強化を図る。</p> <p>【定量的指標】 県立学校の防災機能の強化に関する事業（非構造部材 14校）</p>	H27	—	[H27] C-23の No. 98, 99, 101～112	沖縄21世紀ビジョン実施計画 2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
C-18	<p>【目標】 専門教育のための施設等を整備することにより、産業教育を通じて、勤労に対する正しい信念を確立し、産業技術を習得させるとともに工夫創造の能力を養い、もって経済自立に貢献する有為な国民を育成するため、産業教育の振興を図る。</p> <p>【定量的指標】 ・実験実習の発展的展開に繋がる新規整備（2箇所、4装置） ・装置の老朽化に伴う更新（11箇所、17装置）</p>	H27	—	[H27] C-15のNo.113～124	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進における「専門教育の充実」
C-19	<p>【目標】 へき地における義務教育の円滑な実施及び教育水準の向上を図るため、へき地教員住宅、へき地集会所及びへき地寄宿舎の整備を行う。</p> <p>【定量的指標】 ・へき地教員住宅等の整備に関する事業（1校）</p>	H27	—	[H27] C-9のNo. 125	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
C-20	<p>【目標】 特別支援学校の校舎等の整備について、魅力ある学校づくりを推進し、安全で快適な学習環境の充実した学校施設を年次的に整備する。</p> <p>【定量的指標】 特別支援学校の建物の新増築（1校）</p>	H27	—	[H27] C-10のNo. 66	沖縄21世紀ビジョン実施計画 5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進
D1-1	<p>【目標】 今後の水需要に適切に対応するとともに、水質の安全性を確保するための水道施設等の整備を推進する。また、島嶼県である本県において水道施設が被災した場合、水道事業者相互や他府県からの支援等が困難であり、広範囲かつ長期にわたっての断水が危惧されることから、耐震化や施設の改良等を推進する。</p> <p>【定量的指標】 平成37年度を達成予定年度として、基幹管路耐震化率45%、施設改良率55%を目指す。</p>	H37	H30	[H26]D1 No. 1～4 [H26補正]D1 No. 1 [H27]D1 No. 1～4 [H27補正]D1 No. 1	沖縄21世紀ビジョン実施計画 2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化 2-(6)-ア 地域特性に応じた生活基盤の整備
D3-1	<p>【目標】 老朽化等に伴い移転新築する医療機関等を整備し、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図るとともに、医療施設における患者の療養環境及び医療従事者の職場環境の改善並びに医療従事者の養育力の充実化を図る。</p> <p>【定量的指標】 民間医療機関の新築移転に伴う施設整備 1件 ・耐震化率 1%上昇（現況値（H26）66%）</p>	H27	—	[H27]D3 No. 2	
D3-2	<p>【目標】 医療施設の耐震化又は補強等を行うことにより地震発生時に適切な医療提供体制の維持を図る。</p> <p>【定量的指標】 耐震化率 1%上昇（現況値（H26）66%）</p>	H27	—	[H27]D3 No. 1	
D3-3	<p>【目標】 施設の老朽化が著しく、また、敷地が狭隘なため十分な医療機能の提供が困難となっている県立八重山病院を新築移転する。医療提供の確保や医療環境等の向上を図り離島における定住条件の整備に寄与する。</p> <p>【定量的指標】 新県立八重山病院の新築移転に伴う施設整備 1件 工事進捗率として（H27）6%（H28）75%（H29）100%</p>	H29	—	[H27]D3 NO. 3	沖縄21世紀ビジョン実施計画 2-(3)-ウ 県民ニーズに即した保健医療サービスの推進

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
E-1	<p>【目標】 農業生産額・農家所得の向上、多面的機能を活かした地域の活性化や定住の促進、環境に優しい循環型・省エネ型の農村地域を構築することを目標とする。</p> <p>【定量的指標】 農業生産基盤整備の強化（優良農地の確保） (H27) 約1,360ha (H28) 約1,700ha</p>	H28	H27	<p>[H26] E1のNo.1～2, 15～20, 57, E2</p> <p>[H27] E1のNo.1, 22～28, 69, E2</p> <p>[H27補正] E2</p>	「農山漁村地域整備計画（きめ細やかな農業農村整備プロジェクト）」（平成24年度～平成28年度）において策定した目標に準ずる。
E-2	<p>【目標】 農業生産額・農家所得の向上、多面的機能を活かした地域の活性化や定住の促進、環境に優しい循環型・省エネ型の農村地域を構築することを目標とする。</p> <p>【定量的指標】 農地及び農業用施設の保全強化（優良農地の保全） (H27) 約1,280ha (H28) 約1,600ha</p>	H28	H27	<p>[H26] E1のNo.3～14, 21～38, 58～60</p> <p>[H27] E1のNo.2～21, 29～45, 70～71</p> <p>[H27補正] E1のNo.1, E2</p>	「農山漁村地域整備計画（きめ細やかな農業農村整備プロジェクト）」（平成24年度～平成28年度）において策定した目標に準ずる。
E-3	<p>【目標】 多面的機能を活かした地域の活性化や定住の促進、環境に優しい循環型・省エネ型の農村地域を構築することを目標とする。</p> <p>【定量的指標】 生活環境基盤の強化（集落排水処理人口の向上） (H27) 約12,800人 (H28) 約16,000人</p>	H28	H27	<p>[H25] E1のNo.28～37</p> <p>[H26] E1のNo.40～47</p> <p>[H27] E1のNo.48～62, 72～73</p>	「農山漁村地域整備計画（きめ細やかな農業農村整備プロジェクト）」（平成24年度～平成28年度）において策定した目標に準ずる。
E-4	<p>【目標】 多面的機能を活かした地域の活性化や定住の促進、環境に優しい循環型・省エネ型の農村地域を構築することを目標とする。</p> <p>【定量的指標】 生活環境基盤の強化（定住化促進に向けた環境基盤整備） (H27) 約32集落 (H28) 約40集落</p>	H28	H27	<p>[H25] E1のNo.38～48</p> <p>[H26] E1のNo.48～56</p> <p>[H27] E1のNo.63～68</p>	「農山漁村地域整備計画（きめ細やかな農業農村整備プロジェクト）」（平成24年度～平成28年度）において策定した目標に準ずる。
E-5	<p>【目標】 農業生産額・農家所得の向上、多面的機能を活かした地域の活性化や定住の促進、環境に優しい循環型・省エネ型の農村地域を構築することを目標とする。</p> <p>【定量的指標】 美ら海・農業の推進（赤土等流出防止対策） (H27) 約720ha (H28) 約900ha</p>	H28	H27	<p>[H25] E1のNo.27</p> <p>[H26] E1のNo.39</p> <p>[H27] E1のNo.46～47</p>	「農山漁村地域整備計画（きめ細やかな農業農村整備プロジェクト）」（平成24年度～平成28年度）において策定した目標に準ずる。
E-6	<p>【目標】 担い手への土地利用集積の推進による規模拡大の実現や地域内の未・低利用地を新たに飼料生産基盤に活用することにより畜産主産地の形成を促進する。</p> <p>【定量的指標】 草地の整備：18.02ha 肉用牛飼養頭数の増：1,171頭</p>	H30	—	[H27] E1のNo. 74	
E-7	<p>【目標】 耕作放棄地等を解消するとともに、適切な森林整備事業を実施し、森林の持つ多面的機能の発揮を図る。</p> <p>【定量的指標】 侵入木により過密化した人工林等において、4.2haの植栽及び76.0haの保育を実施する。</p>	H27	—	<p>[H25] E-1のNo. 50～53</p> <p>[H26] E-1のNo. 62～65</p> <p>[H27] E-1のNo. 75～78</p>	
E-8	<p>【目標】 山地災害防止対策の実施により、荒廃危険山地の崩壊等を予防する。</p> <p>【定量的指標】 山地災害防止対策が実施される山地災害危険地区数 6地区</p>	H30	—	<p>[H26] E1のNo. 66～70</p> <p>[H27] E1のNo. 79～84</p>	地元からの要望により地区が増え、終期を延長。

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
E-9	<p>【目標】 漁場後背地の森林を整備することにより、栄養塩類等の供給や濁水の緩和等による漁場環境の保全を図る。</p> <p>【定量的指標】 漁場の後背地における森林の整備地区数 1地区</p>	H28	—	[H26]E1のNo. 72 [H26補正]E1のNo. 1 [H27]E1のNo. 85	
E-10	<p>【目標】 水産物の生産及び流通機能の強化を図るため、漁港の整備を行う。</p> <p>【定量的指標】 ・防波堤の整備 新設・改良L=140m ・航路・泊地の浚渫 A=21,500m² ・物揚場の整備 新設L=157m</p>	H33	H30	[H27]E1のNO. 86, 102	沖縄21世紀ビジョン実施計画 3-(7)-カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農 林水産業の基盤整備
E-11	<p>【目標】 漁業生産基盤と漁村の生活環境施設の総合的な整備を行う。</p> <p>【定量的指標】 渡名喜地区：沈設魚礁の整備9箇所、多目的広場の整備 国頭浜地区：突堤の整備L=20m、荷捌施設棟の整備 久米島地区：突堤、防波堤の整備L=154m 宮古島西地区：突堤の整備L=80m、水産部加工施設の整備 塩屋地区：船揚場先端改良L=50m 糸満地区：防波堤の整備L=80m、総合交流施設の整備 うるま地区：防波堤・突堤の整備L=320m、浮棧橋、物揚場の整備L=304m 東地区：防波堤の整備L=404.2m、浮棧橋の整備L=10m 西崎地区：航路防波堤の整備L=57m、浮棧橋の整備1基 石垣北地区：浮棧橋の整備L=30m、直売所兼集会所の整備 伊平屋地区：防波堤・突堤の整備L=284m、物揚場の整備L=40m 今帰仁地区：泊地・航路浚渫A=41,600m²、浮棧橋の整備2基 南城II地区：船揚場改良L=54m、漁業集落排水施設の改修</p>	H31	H29	[H26]E1のNO. 73～84, 87 [H27]E1のNO. 87～100, 103	21世紀ビジョン実施計画 2-(7)-イ 交流と共創による農山漁村の活 性化 3-(7)-カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農 林水産業の基盤整備 3-(12)-イ 農林水産業の振興
E-12	<p>【目標】 高潮・波浪等による被害から海岸を防護し、もって国土の保全を図る。</p> <p>【定量的指標】 ・防護面積 28.7ha , 防護人口 781人 (屋我地地区) ・防護面積 5.61ha , 防護人口 116人 (伊是名地区)</p>	H29	—	[H26]E1のNO. 85～86, 88 [H27]E1のNO. 101, 104	沖縄21世紀ビジョン実施計画 2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
E-13	<p>【目標】 県中央卸売市場（以下、市場）に花き用冷蔵庫を整備し、パケット流通を導入することで、市場に入荷される花き類の貯蔵期間の延長、品質向上を図り、市場における切花の取扱単価の向上を目指す。</p> <p>【定量的指標】 冷蔵庫整備に係る切花販売金額の2%向上を目指す。</p>	H31	—	[H27]E3	
E-14	<p>【目標】望ましい林業構造の確立</p> <p>【定量的指標】原木の平均取扱量</p> <p>【目標値】現状値 (H24)774m³、目標値 (H31)1010m³</p>	H31	H29	[H26]E5のNo. 1～2	
F-1	<p>【目標】 工業用水の安定的な供給を確保するため、老朽化した工業用水道施設の計画的な更新及び耐震化を推進する。</p> <p>【定量的指標】 平成36年度を達成予定年度として、東系導水路トンネル更新率100%を目指す。</p>	H36	H30	[H27]F	

平成 27 年度沖縄振興公共投資交付金に係る成果目標

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
G-1	<p>【目標】 地域特性に応じた交通・輸送基盤の整備（生活に密着した道路整備）</p> <p>【定量的指標】 道路を整備し、開通延長整備率を算出する。 現況値(H26) 0% 最終目標値(H28) 100%</p>	H28	—	<p>[H26]G No. 1～10, 13～20, 22, 255</p> <p>[H27]G No. 1～8, 11～19, 21, 264</p>	<p>沖縄21世紀ビジョン実施計画 2-(6)-ア 地域特性に応じた生活基盤の整備</p>
G-2	<p>【目標】 各拠点を結ぶ道路網の整備（陸上交通基盤の整備：ハシゴ道路ネットワークの構築）</p> <p>【定量的指標】 道路を整備し、開通延長整備率を算出する。 現況値(H26) 0% 最終目標値(H28) 100%</p>	H28	—	<p>[H26]G No. 11～12, 255</p> <p>[H27]G No. 9～10, 264</p>	<p>沖縄21世紀ビジョン実施計画 3-(1)-ウ 陸上交通基盤の整備</p>
G-3	<p>【目標】 地域特性に応じた道路整備とバス路線の維持・確保（地域特性に応じた道路整備：定住を支援する道路整備）</p> <p>【定量的指標】 道路を整備し、開通延長整備率を算出する。 現況値(H26) 0% 最終目標値(H28) 100%</p>	H28	—	<p>[H26]G No. 21, 23～33, 255</p> <p>[H27]G No. 20, 22～35, 264</p>	<p>沖縄21世紀ビジョン実施計画 3-(11)-ウ 交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化</p>
G-4	<p>【目標】 安全で快適な生活環境の創出（歩いて暮らせる環境づくりの推進：街路整備事業）</p> <p>【定量的指標】 道路を整備し、開通延長整備率を算出する。 現況値(H26) 0% 最終目標値(H28) 100%</p>	H28	—	<p>[H26]G No. 34～48, 51～55, 255, 256, 271～280, 321～322, 335～339, 354～357, 378～379, 388～389, 396～397, 405～407, 420～421, 470, 487～488</p> <p>[H27]G No. 36～50, 53～59, 264, 265, 266, 279～286, 312, 325～328, 339～343, 355～357, 376～377, 387～388, 399～400, 410～411, 480～481, 498～499, 547, 548, 555</p>	<p>定量的指標を『事業完了数（箇所）』から『開通延長整備率』へ変更。</p> <p>道路整備等の定量的指標を『開通延長整備率』で統一。</p>
G-5	<p>【目標】 各拠点を結ぶ道路網の整備（陸上交通基盤の整備：ハシゴ道路ネットワークの構築）</p> <p>【定量的指標】 道路を整備し、安全かつ円滑な道路の整備率を算出する 現況値(H26) 17% 最終目標値(H28) 24%</p>	H28	—	<p>[H26]G No. 49～50, 255</p> <p>[H27]G No. 51～52, 264, 265</p>	<p>沖縄21世紀ビジョン実施計画 3-(1)-ウ 陸上交通基盤の整備</p>
G-6	<p>【目標】 ①安全で快適な生活環境の創出 （安全でゆとりある道路空間） ②交通安全対策の推進 （交通安全環境の整備）</p> <p>【定量的指標】 平成28年度までに事故危険箇所の事故発生件数3割抑止</p>	H28	—	<p>[H26]Gの No. 56, 58～61, 73～76, 84, 96～100, 257, 261</p> <p>[H27]Gの No. 60, 62～63, 75～78, 100～104, 267, 271</p>	<p>沖縄21世紀ビジョン実施計画 1-(7)-イ 歩いて暮らせる環境づくりの推進</p> <p>2-(4)-ア 安全・安心に暮らせる地域づくり</p>

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
G-7	<p>【目標】 ①安全で快適な生活環境の創出 (安全でゆとりある道路空間) ②交通基盤の整備による観光客の移動の円滑化 (観光地巡りが楽しくなるみちづくり)</p> <p>【定量的指標】 平成28年度までに4.5kmの走行空間を整備</p>	H28	—	<p>[H26]Gの No. 57, 68～72, 77～ 83 85～86, 89～90, 92～95, 259</p> <p>[H27]Gの No. 61 70～74, 79～87 90～94, 96～99, 269, 553</p>	<p>沖縄21世紀ビジョン実施計画 1-(7)-イ 歩いて暮らせる環境づくりの推 進</p> <p>3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備</p>
G-8	<p>【目標】 沖縄都市モノレールを沖縄自動車道(西原入口)まで延長整備することで、効果的・広域的な利用を推進し、定時定速かつ利便性の高い公共交通ネットワークを形成するとともに、モノレールの需要を喚起し、自動車から公共交通への転換を図ることで、那覇都市圏の交通渋滞緩和に寄与する。</p> <p>【指標】 沖縄都市モノレールを整備し、定時定速かつ利便性の高い公共交通ネットワークを形成、確保することで、モノレール乗客数の増加を図る。</p> <p>【目標値】 現況値(H22)35,551人/日 中間目標値(H30)40,542人/日 最終目標値(H31)50,166人/日</p>	H31	—	<p>[H26]GのNo.62～ 67, 206, 265～ 267, 271, 280, 300～ 302, 336, 338, 339, 3 50～352</p> <p>[H27]GのNo.64～ 69, 211, 274～ 277, 279, 286, 305～ 307, 340, 342, 343, 3 51～353</p>	<p>沖縄21世紀ビジョン実施計画 1-(3)-ア 地球温暖化防止対策の推進</p> <p>1-(3)-ウ 低炭素都市づくりの推進</p> <p>1-(7)-ウ 人に優しい交通手段の確保</p> <p>2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化</p> <p>3-(1)-ウ 陸上交通基盤の整備</p> <p>3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備</p> <p>※都市計画モノレール課(沖縄都市モノレール延長整備事業) (パークアンドライド駐車場の整備(第4駅周辺等))</p>
G-9	<p>【目標】 ①運輸部門の低炭素化の推進 (公共交通機関利用の拡大) ②コンパクトな都市構造の形式と交通流対策 (公共交通機関の整備・利用促進) ③公共交通利用環境の改善 (バス利用環境の整備)</p> <p>【定量的指標】 平成28年度までにバス停上屋45基を整備</p>	H28	—	<p>[H26]Gの No. 87, 91</p> <p>[H27]Gの No. 88, 95</p>	<p>沖縄21世紀ビジョン実施計画 1-(3)-ア 地球温暖化防止対策の推進</p> <p>1-(3)-ウ 低炭素都市づくりの推進</p> <p>1-(7)-ウ 人に優しい交通手段の確保</p>
G-10	<p>【目標】 ①商店街・中心市街地の活性化と商業事業者の振興 (商店街・中心市街地の環境整備)</p> <p>【定量的指標】 平成27年度までコミュニティ道路を1箇所整備</p>	H28	—	<p>[H26]Gの No. 88</p> <p>[H27]Gの No. 89</p>	<p>沖縄21世紀ビジョン実施計画 3-(8)-イ 商店街・中心市街地の活性化と 商業の振興</p>
G-11	<p>【目標】 ①景観資源の保全・再生・利用 (無電柱化の推進) ②安全で快適な生活環境の創出 (安全でゆとりある道路空間の創出) ③輸送手段及び避難地等の確保 (緊急物資輸送機能の確保)</p> <p>【定量的指標】 平成28年度までに無電柱化12kmを推進</p>	H28	—	<p>[H26]Gの No. 101～106</p> <p>[H27]Gの No. 105～112</p>	<p>沖縄21世紀ビジョン実施計画 1-(6)-ア 沖縄らしい風景づくり</p> <p>1-(7)-イ 歩いて暮らせる環境づくりの推 進</p> <p>2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化</p>
G-12	<p>【目標】 ①生活基盤等の防災・減災対策 (公共施設等における耐震化対策の推進)</p> <p>【定量的指標】 平成28年度までに道路橋の補修・耐震補強105箇所実施</p>	H28	—	<p>[H26]Gの No. 107～146, 262</p> <p>[H27]Gの No. 113～154, 272</p>	<p>沖縄21世紀ビジョン実施計画 2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化</p>

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
G-13	<p>【目標】 ①輸送手段及び避難地等の確保 (緊急物資輸送機能の確保)</p> <p>【定量的指標】 平成28年度までに道路法面等対策60箇所実施</p>	H28	—	<p>[H26]Gの No. 147～ 205, 258, 260</p> <p>[H27]Gの No. 155～ 210, 268, 270, 543～546</p>	沖縄21世紀ビジョン実施計画 2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
G-14	<p>【目標】 沖縄県の地域活性化と観光振興を支援する港湾整備及び快適で潤いのある環境の創造と活気あふれる“みなと”まちづくりを図る。</p> <p>【定量的指標】 沖縄県及び那覇港管理組合の管理港湾施設について、効率的・効果的・計画的な維持管理を実施するため、維持管理計画の策定率を51%から100%へ向上させる。</p>	H28	H26	<p>[H26]GのNo.207～ 224, 531</p> <p>[H27]GのNo.212～ 234</p>	
G-15	<p>【目標】 沖縄県の地域活性化と観光振興を支援する港湾整備及び快適で潤いのある環境の創造と活気あふれる“みなと”まちづくりを図る。</p> <p>【定量的指標】 ダイビング活動や遊漁活動を主とする小型船利用者の安全性と利便性を確保するため、整備の達成率を31%から57%へ向上させる。</p>	H28	H26	<p>[H26]GのNo.207～ 224, 270, 527</p> <p>[H27]GのNo.212, 214 ～223, 226～ 231, 273</p>	<p>新規施設追加による変更 (変更前) 36%から60%へ向上 (変更後) 31%から57%へ向上</p> <p>沖縄21世紀ビジョン実施計画 2-(6)-ア 地域特性に応じた生活基盤の整備</p> <p>3-(1)-イ 人流・物流を支える港湾の整備</p>
G-16	<p>【目標】 沖縄県の地域活性化と観光振興を支援する港湾整備及び快適で潤いのある環境の創造と活気あふれる“みなと”まちづくりを図る。</p> <p>【定量的指標】 定期船が就航している港等において、港湾来訪者の利便性と快適性を確保する整備の達成率を74%から93%へ向上させる。</p>	H28	H26	<p>[H26]GのNo.214～ 218, 220～ 221, 223, 224, 270, 5 28, 532, 533, 534</p> <p>[H27]GのNo.213, 232 ～234, 273, 539, 542</p>	<p>新規施設追加による変更 (変更前) 76%から92%へ向上 (変更後) 74%から93%へ向上</p> <p>21世紀ビジョン実施計画施策 2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化</p> <p>3-(1)-イ 人流・物流を支える港湾の整備</p> <p>3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備</p>
G-17	<p>【目標】 沖縄県の地域活性化と観光振興を支援する港湾整備及び快適で潤いのある環境の創造と活気あふれる“みなと”まちづくりを図る。</p> <p>【定量的指標】 地域や離島の安定した生活を確保するため、定期船や貨物船の安全を確保する整備の達成率を36%から80%へ向上させる。</p>	H28	H26	<p>[H26]GのNo.211, 214 ～ 216, 218, 219, 221, 2 22, 270, 529, 530</p> <p>[H27]GのNo. 216, 220, 222, 224～ 226, 229～ 231, 273, 540～542</p>	<p>新規施設追加による変更 (変更前) 39%から82%へ向上 (変更後) 36%から80%へ向上</p> <p>21世紀ビジョン実施計画施策 3-(1)-イ 人流・物流を支える港湾の整備</p> <p>3-(11)-ウ 交通基盤の整備と交通ネット ワークの充実強化</p>

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
G-18	<p>【目標】 『真に困窮する低額所得者層及び多様な住宅困窮世帯に対応するセーフティネットの構築』 『バリアフリー化、省エネ化及び耐震化等高い住宅性能を備えた住宅ストックの形成』</p> <p>【指標】 民間賃貸住宅では対応が困難な真に住宅に困窮する低額所得者への対応 ＝公営住宅管理戸数</p> <p>【目標値】 現況値(H27) 29,505戸、中間目標値29,895戸、最終目標値(H32) 30,285戸</p>	H32	H29	<p>[H27]GのNo.260～263, 301～304, 321～324, 335, 336, 370～372, 383～385, 395～398, 421～423, 435～438, 449, 450, 452, 454, 457, 458, 467, 470, 474, 475, 496, 520, 521, 536, 537, 554, 557～560</p>	<p>地域住宅計画 沖縄県地域 (H27 開始版)</p> <p>沖縄21世紀ビジョン実施計画 2-(3)-エ 福祉セーフティネットの形成</p>
G-19	<p>【目標】 地域住民の生活に密着した市町村道の整備を推進し、安全で円滑な交通の確保、生活環境の向上を図る。</p> <p>【指標】 (道路の整備延長) / (対策期間における要整備箇所延長) × 100</p> <p>【目標値】 現況値 (H24) 12% 中間目標値 (H26) 17% 最終目標値 (H28) 55%</p>	H28	H26	<p>[H26]Gの No. 281, 282, 310～312, 340, 358～365, 380, 390, 398～402, 408～410, 422～425, 434～437, 440～442, 444, 446, 447, 451, 453～457, 466, 471～475, 481～483, 489～491, 500, 501, 507, 508, 510, 511, 515, 520, 524</p> <p>[H27]Gの No. 287, 288, 313～315, 358～365, 378, 389, 401～406, 412～414, 425～428, 440～443, 446～448, 453, 455, 459～464, 471, 477, 482～485, 491～494, 500～504, 513, 516, 522～525, 529, 533～535, 538</p>	<p>沖縄21世紀ビジョン実施計画 2-(6)-ア 地域特性に応じた生活基盤の整備 (施策⑤：生活に密着した道路整備事業 (市町村道))</p>
G-20	<p>【目標】 集中豪雨の多発による洪水や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、迅速な情報提供や総合的な浸水対策を実施することにより県民が安全・安心に暮らせる生活の確保を図る。</p> <p>【指標】 整備河川における整備の進捗状況に応じた氾濫面積の合計 Σ (各整備河川の整備前想定氾濫面積 × (100%-事業進捗率))</p> <p>【目標値】 整備河川における氾濫面積を3.88km² (H27) から2.81km² (H31) に縮小 (中間目標値 3.15km² (H29))</p>	H31	H29	<p>[H27]GのNo. 235, 236, 238～241, 487</p>	<p>社会資本総合整備計画の「県民が安全・安心に暮らせる総合的な浸水対策の推進 (防災・安全)」計画に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。</p>

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
G-21	<p>【目標】 沖縄県は台風常襲地帯であることに加え、地球温暖化の気候変動に伴う集中豪雨など災害の危険度が高いことから、県民の生命及び財産を守り、あわせて沖縄振興のための社会資本を保全する必要がある。災害の未然防止のため土砂災害対策を推進することにより、災害に強い県土をつくとともに、安全安心な生活環境の確保を図る。</p> <p>【指標】 1) 土砂災害のおそれのある人家約200戸を保全するため土砂災害対策を推進する。(前計画からの継続事業を含め約1,800戸の土砂災害対策を完了させる) 2) 土砂災害のおそれのある災害時要配慮者利用施設の保全について5施設の土砂災害対策を推進する。(前計画からの継続事業を含め3施設の土砂災害対策を完了させる)</p> <p>【目標値】 現況値 (H27) 約6,800戸・37施設、中間目標値 ー、最終目標値 (H31) 約7,000戸・42施設</p>	H31	—	<p>[H26]GのNo. 227, 232, 233</p> <p>[H27]GのNo.237, 242 ~245</p>	<p>社会資本整備計画の「災害に強い県土づくり～土砂災害対策の推進～」に位置付け、社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)と一体となって目標を達成する。</p>
G-22	<p>【目標】 沖縄県は台風の常襲地帯であり、海岸は高潮、波浪等による被害を度々受けている。海岸保全施設の整備は進んでいるものの、未だに高潮、越波による災害が発生しており整備を推進する必要がある。 一方、優れた自然景観を有する本県の海岸は、観光立県沖縄の貴重な観光資源となっている。 このため、防護が必要な海岸において所要の安全を確保するとともに、環境や利用にも配慮し、防護・環境・利用が調和した総合的な海岸整備を推進する。</p> <p>【指標】 高潮・波浪、老朽化及び侵食に対する安全・安心の確保のため、想定浸水面積を57.3ha(H27)から11.5ha(H31)に減少させる。</p> <p>【目標値】 現況値(H27)57.3ha、中間目標値一、最終目標値(H31)11.5ha</p>	H31	—	<p>[H26]GのNo.234～237, 263, 264</p> <p>[H27]Gの246～249</p>	<p>事業完了箇所や新規事業箇所があるため、浸水面積に変更が生じた。</p>
G-23	<p>【目標】 下水を速やかに排除・処理することにより、生活環境の改善、浸水の防除、海や河川等の公共用水域の水質汚濁の防止に積極的な役割を果たし、豊かな自然環境の保全・再生に大きく寄与する。</p> <p>【指標】 幹線整備や関連市町村の面整備に伴う汚水増に対応した処理場施設の増設を推進し、下水道処理人口を増加させる。 下水道処理人口普及率(%)=下水道によって供用開始している処理区域の定住人口(人)÷住民基本台帳に記載された人員(人)×100</p> <p>【目標値】 現況値(H25) 69.9% 中間目標値(H29) 74.0% 最終目標値(H31) 75.8%</p>	H31	H29	<p>[H27]GのNo.250～258, 289, 308, 317, 332, 338, 346, 366, 367, 379, 380, 392, 407, 409, 416～418, 424, 432, 433, 444, 445, 451, 456, 465, 466, 468, 473, 476, 478, 479, 488, 490, 495, 497, 506, 511, 514, 515, 517～519, 526～528, 552, 556</p>	<p>沖縄汚水再生ちゅら水プラン(沖縄県下水道等整備構想) H23.3版</p> <p>沖縄21世紀ビジョン実施計画2-(6)-ア</p> <p>地域特性に応じた生活基盤の整備</p> <p>③下水道等の整備</p>
G-24	<p>【目標】 沖縄県では、沖縄振興計画等に基づいて自然・歴史・平和の学習やレクリエーション需要を満たすとともに、災害時の避難場所ともなる県営都市公園の整備を図っている。引き続き、従来計画を推進すると共に、長寿・健康福祉社会といった社会情勢の変化に対応した公園施設のバリアフリー化や老朽化施設の再整備等、利用者がより安全で安心して利用でき、観光にも資する公園整備を目指す。</p> <p>【指標】 ①県営公園整備面積 ②県営全9公園の利用者数</p> <p>【目標値】 ①434ha(H25年度末)→440ha(H31年度末) ②598万人(H25年度末)→630万人(H31年度末)</p>	H31	H28	<p>[H26]G No. 246, 247, 268, 269, 548</p> <p>[H27]G No. 259, 278</p>	<p>社会資本総合整備計画に位置づけ、社会資本整備総合交付金で実施する都市公園整備事業と一体となって目標を達成するため、社会資本総合整備計画と成果目標を一致するよう変更。</p> <p>①県営公園面積436ha(H30年度末)→440ha(H31年度末)</p> <p>②県営全9公園の利用者数570万人(H30年度末)→630万人(H31年度末)</p>

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
G-25	<p>【目標】 都市公園整備事業の推進を図ることにより、良好な地域環境の形成、自然環境の保全、災害時における緊急避難地の確保等、快適で安全で安心した都市環境を提供するとともに、公園利用者の利用利便性の向上を目指す。</p> <p>【定量的指標】 那覇市における一人当たり公園面積を5.55㎡/人（H26年度末）から5.62㎡/人（H31年度末）に増加する。</p>	H31	—	<p>[H26]GのNo.284～295、304、305、307～309</p> <p>[H27]Gの290～299、309～311、549～551</p>	<p>【参照計画等】 社会資本総合整備計画の「那覇市都市整備推進計画（防災・安全）」に位置付け、社会資本整備総合交付金と一体となって目標を達成する。</p>
G-26	<p>【目標】 那覇市公園施設長寿命化計画に基づく老朽化施設の改築等が必要な那覇市営公園において撤去及び更新を行う。</p> <p>【定量的指標】 平成29年までに那覇市公園施設長寿命化計画が策定されている公園施設のうち、15公園の撤去及び更新を行う。</p>	H29	—	<p>[H26]GのNo. 296</p> <p>[H27]GのNo. 300</p>	
G-27	<p>【目標】 公共施設の整備改善と良好な宅地の供給</p> <p>【指標】 土地区画整理事業により整備された宅地面積</p> <p>【目標値】 現況値(H24) 1,885ha 中間目標値(H28) 2,151ha 最終目標値(H33) 2,251ha</p>	H33	H28	<p>[H26]GのNo. 313. 341. 342. 353. 3 91. 411. 426. 432. 46 2. 467. 476. 478. 492 . 497. 516. 519</p> <p>[H27]GのNo. 316. 344. 345. 350. 3 54. 390. 391. 415. 42 9. 439. 472. 486. 489 . 505. 510. 530. 532</p>	<p>沖縄21世紀ビジョン実施計画を参考に成果目標を設定した。土地区画整理事業の目的は、公共施設の整備改善と宅地の利用の増進を図り健全な市街地形成を図ることであることから、宅地の利用状況を示すものとした。</p> <p>また、社会資本整備総合計画の「駐留軍用地返還跡地利用による活力創出と安全・安心な生活を支える基盤整備」等の計画に位置づけ、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。</p>
G-28	<p>【目標】 環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、景観形成機能といった、緑のもつ機能に合った公園整備や公園施設の改築・更新を行い、より一層市民が身近に緑と親しめる環境を創出し、快適で魅力ある都市づくりを推進する。</p> <p>【指標】 1) 宜野湾市における一人当たりの公園面積を4.03㎡/人（H24）から4.38㎡/人（H28）に増加 2) 平成28年度までに宜野湾市内都市公園36箇所の内15箇所の遊戯施設の改築・更新を図り、安全で安心して利用できる都市公園の整備を行う。</p> <p>【目標値】 1) 宜野湾市における一人当たりの公園面積 現況（H24）4.03㎡/人 ⇒ 中間（H26）4.17㎡/人 ⇒ 最終（H28）4.38㎡/人 2) 遊戯施設の改築・更新 現況（H25末）6施設 ⇒ 最終（H28）15施設</p>	H28	H26	<p>[H26]G No.315～317</p> <p>[H27]GのNo. 318～320</p>	
G-29	<p>【目標】 港湾緑地・臨港道路等の整備及びその他周辺の老朽化した港湾施設の改良を行うことにより、港湾施設の利便性を高め、地域住民及び観光客の利用促進を図る。</p> <p>【指標】 既存施設の延命化を図るために計画的な施設改良を実施する。既存施設延命化のため維持管理計画に基づく施設改良完了箇所数（H22当初現在計画箇所数 全10箇所）</p> <p>【目標値】 現況値（H22）0% 中間目標値（H24）90%（9箇所） 最終目標値（H28）100%（12箇所）</p>	H28	—	<p>[H26]GのNo.323</p> <p>[H27]GのNo.329</p>	<p>○整備遅延による計画年度延長 （変更前）達成年度 H26 （変更後）達成年度 H28</p> <p>※H24年度中間評価済</p>

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
G-30	<p>【目標】 港湾緑地・係留施設の整備及びその他周辺の老朽化した港湾施設の改良を行うことにより、港湾施設の利便性を高め、地域住民及び観光客の利用促進を図り、親水性のある港湾環境空間の創出を図る。</p> <p>【指標①】 石垣港の年間利用者数を2,131,612人(H21)から2,503,000人(H28)までに17%増加 (石垣港の年間利用者数の増加率)=(評価時点の年間利用者数-H21の年間利用者数)/(H21の年間利用者数)(%)</p> <p>【目標値①】 現況値(H22) 2,131千人 中間目標値(H24) 2,327人(9%増) 最終目標値(H28) 2,503千人(17%増)</p> <p>【指標②】 新港地区緑地整備面積を4haから5.6ha(H28)まで増加</p> <p>【目標値②】 現況値(H26)4ha 最終目標値(H28)5.6ha</p> <p>【指標③】 小型船だまりの整備率を0%から5%増加(進捗率)</p> <p>【目標値③】 現況値(H24)0% 最終目標値(H28)5%</p>	H28	—	[H26]GのNo. 324, 326, 332 [H27]GのNo. 330, 331, 337	<p>○整備遅延による計画年度延長及び延長に伴う指標①・目標①の数値変更 (変更前)達成年度 H26 (変更後)達成年度 H28</p> <p>○指標の明確化 指標②、③を追加</p> <p>※H24年度中間評価済</p>
G-31	<p>【目標】 石垣島を代表する観光拠点として、既存公園の整備及びバリアフリー化改築等を行い、都市公園利用者である市民や観光客の利便性及び安全性の向上を図り、名勝「川平湾」との調和のとれた公園整備を目指す。</p> <p>【定量的指標】 ・川平風致公園における供用開始面積:2.0ha、整備及び改築面積:0.6ha(H26末)を供用開始面積:2.5ha、整備及び改築面積:2.5ha(H29末)にする。</p>	H29	—	[H27]GのNo.333	
G-32	<p>【目標】 石垣市における公園施設長寿命化計画に基づき、公園利用者のニーズに合わせた公園施設の適切な改築・更新、バリアフリー化改築等を行い、都市公園利用者の利便性・安全性の向上及び公園利用者促進を図る。</p> <p>【定量的指標】 ・石垣市におけるバリアフリー便所適合率:60%(H26末)→80%(H27末) ・石垣市中央運動公園の年間利用者数:283,500人(H22年度末)→300,000人(H27年度末)</p>	H27	—	[H26]GのNo.329, 334 [H27]GのNo.334	
G-33	<p>【目標】 浦添市の憩いの拠点となる都市公園整備の推進と、緑の骨格となる都市緑地の保全・活用を図るとともに、土地区画整理事業区域内の都市公園整備を推進する。また、浦添市都市公園安全・安心対策事業により、公園施設の適切な改築・更新を行い、安全で安心して利用できる都市公園整備を推進する。</p> <p>【指標】 ・一人当たり都市公園面積を5.35㎡(H26)から5.58㎡(H31)に増加</p> <p>【目標値】 ・一人当たり都市公園面積:現況(H27)5.35㎡⇒中間(H29)5.46㎡⇒最終(H31)5.58㎡</p>	H31	H29	[H26]GのNo. 345, 347, 349 [H27]GのNo.347~ 349	<p>【参照計画等】 社会資本総合整備計画の「浦添市における都市公園整備の推進」に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。</p>

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
G-34	<p>【目標】 地域住民の意見を踏まえ、安全性に配慮した親しみのある都市公園の計画的な整備を推進するとともに、競技スポーツの振興及び市民の生涯スポーツ・健康増進・レクリエーションの充実に資する都市公園の整備を目指す。</p> <p>【指標】 ・名護市における一人当たりの公園面積を18.56㎡/人（H23年度末）から19.58㎡/人（H27年度末）に増加する。</p> <p>【目標値】 名護市における1人当たりの公園面積：18.56㎡/人（H23年度末） ⇒19.58㎡/人（H27年度末）</p>	H27	H26	<p>[H26]GのNo. 369, 370, 375～377</p> <p>[H27]GのNo. 368, 369, 373～375</p>	<p>【参照計画等】 社会資本総合整備計画の「名護市都市公園整備推進計画」に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。</p>
G-35	<p>【目標】 地域住民の憩いの場の創出、健康増進を推進し、良好な市街地形成を図る為、都市公園の整備を図る。</p> <p>【定量的指標】 糸満市における一人当たりの公園面積を16.57m2/人(H23末)～16.69m2/人(H28末)に増加する。中間年度評価(H26末)時目標16.63m2/人</p>	H28	H26	<p>[H26]GのNo. 383、 No. 387</p> <p>[H27]Gの No. 381, No. 386</p>	
G-36	<p>【目標】 H24年度に策定した糸満市都市公園施設長寿命化策定計画をベースに緊急度の高い公園施設の改築、更新を行う。</p> <p>【定量的指標】 糸満市管内の長寿命化計画が策定されている公園のうち、10公園の改築、更新（H28末）を行う。</p>	H28	H26	<p>[H26]G No.384</p> <p>[H27]GのNo. 382</p>	
G-37	<p>【計画の目標】 本計画により、こどもの国公園を中心に都市公園の整備推進を図るとともに、都市公園の利用者の誘客を促す。 また、市民に安全で安心して公園を利用してもらえるよう、各都市公園の公園施設の老朽化や危険度に関する調査を行い、改築・更新等を目指した長寿命化計画を策定し、市民に安全で安心して利用してもらえる都市公園の整備推進を図る。</p> <p>【定量的指標】 一人あたりの都市公園面積（㎡/人）の目標を、平成30年度末までには8.98㎡とする。 こどもの国公園については、バリアフリー化及び施設の充実を図るために園路整備を重点的に整備するとともに、市民の防災機能及び地域活性化の核施設としての都市公園整備に取り組む。なお、平成30年度末までには、公園誘客数を416,250人/年を目標とする。</p>	H30	H28	<p>[H26]GのNo.393, 549</p> <p>[H27]GのNo.393, 394</p>	<p>社会資本総合整備計画の「沖縄市都市公園整備計画」に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。</p>
G-38	<p>【目標】 豊見城市公園長寿命化計画において、改築・更新が必要と判断した公園施設や、有資格者による定期点検において、緊急を要する公園施設の改築・更新を推進することで、公園利用者の利便性及び安全性の向上を図る。</p> <p>【指標】 平成32年度までに、都市公園27公園のうち20公園の遊具等を更新し、利用者の安全・安心を確保する。</p> <p>【目標値】 施設の改築・更新を行った公園数：現況値(H26末)9箇所 ⇒中間(H29末)12箇所 ⇒最終(H32末)20箇所</p>	H32	H29	<p>[H26]GのNo.404</p> <p>[H27]GのNo.408</p>	<p>【指標】 ①都市公園28公園→27公園 ②遊具→遊具等</p>

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
G-39	<p>【目標】 うるま市の拠点となる公園の整備推進と、緑の骨格となる緑地の保全・活用及びうるま市内の公園整備を推進する。うるま市公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の適切な改築・更新を行い、安全・安心な公園施設の管理に努める。</p> <p>【指標】 1) 1人当たり公園面積を8.29m² (H24) から8.46m² (H28) に増加 2) 安全・安心な公園施設の管理運営</p> <p>【目標値】 1) 公園面積：現況99.1ha (H24) → 中間101.2ha (H26) → 最終102.5ha (H28) 1人当た公園面積：現況8.29m² (H24) → 中間8.40m² (H26) → 最終8.46m² (H28) 2) 公園施設の適切な改築・更新 現況 (H26) 33.3% → 最終 (H28) 100%</p>	H28	H26	<p>[H26] GのNo.415, 416</p> <p>[H27] GのNo. 419, 420</p>	
G-40	<p>【目標】 —港灣を訪れる地元市民と観光客との交流の拠点として人々に親しまれる緑地を整備することにより、物流・交流及び観光拠点としての港灣機能の強化を図るとともに、にぎわいのある港づくりを図る。</p> <p>【定量的指標】 緑地の整備率を77%から90%へ向上させる。</p>	H29	H28	<p>[H27] G2のNo.430, 431</p>	社会資本整備計画から移行事業平良港灣計画の緑地計画に基づく整備率
G-41	<p>【目標】 都市の拡大に伴う生活環境の悪化や都市生活に生じる緊張感からの解放などから、豊かな市民生活を営める快適な都市環境の整備を行うため、緑あふれる公園の整備をめざすとともに、バリアフリー化を行うことにより、利便性・安全性の向上を図る。</p> <p>【定量的指標】 宮古島市における一人あたりの都市公園面積23.47m² (H21末) から23.87m² (H28末) に増加</p>	H28	H24	<p>[H26] GのNo. 429</p> <p>[H27] GのNo. 434</p>	<p>社会資本整備計画の「宮古地区における市民や観光客の利便性・安全性の向上と環境緑地の確保」計画に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。</p> <p>【H24年度中間評価済】</p>
G-42	<p>【目標】 都市公園として村民の健全な心身を育む場として供用しています。誰もが安全で安心して利用できるようバリアフリー対策を行い高齢化、障害者なども含めた暮らしやすいユニバーサル社会を目指します。</p> <p>【指標】 ユニバーサルデザインを取り入れた遊具設置公園数</p> <p>【目標値】 遊具施設： 現況値 (H26) 0箇所 最終目標値 (H27) 1箇所</p>	H27	—	<p>[H26] GのNo. 550</p> <p>[H27] GのNo. 469</p>	

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
G-43	<p>【目標】 南風原町における1人当たり公園面積は、4.9㎡/人（平成23年度末）と全国平均9.6㎡/人（平成20年度末）を大きく下回っていることから、町内の都市公園及び都市緑地の整備を推進することにより、花と緑が彩り潤いのあるまちづくりを目指すとともに、公園施設のバリアフリー化や老朽化施設の改築・更新等を行うことにより、だれもが安全で安心して利用できる都市公園を目指す。</p> <p>【指標】 都市公園面積4.9㎡/人（平成23年度末）を8.9㎡/人（平成28年度）に増加させる。 都市公園のバリアフリー化された都市公園率14%（平成23年度末）を64%（平成28年度末）に増加させる。</p> <p>【目標値】 南風原町1人当たり都市公園面積＝都市公園の開設面積の合計／都市計画区域人口 ・当初現況値（H23末） 4.9㎡/人 ⇒ 中間目標値（H26末） 5.3㎡/人 ⇒ 最終目標値（H28末） 8.9㎡/人 南風原町のバリアフリー化された都市公園率＝バリアフリー化された都市公園の開設箇所／都市公園の開設箇所数 ・当初現況値（H23末） 14% ⇒ 中間目標値（H26末） 43% ⇒ 最終目標値（H28末） 64%</p>	H28	H26	[H26]GのNo.494～496, 499 [H27]GのNo.507～509, 512	社会資本整備計画の「南風原町都市公園整備計画」に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。
G-44	<p>【目標】 農村公園を含めた住民一人当たりの公園面積を20㎡/人を目標とし、現在整備中の都市公園の整備を進める。また、将来に市街地等を想定した公園誘致圏の検討及び町民のニーズ等を踏まえ、計画的な都市公園の整備（設置）を進める。</p> <p>【指標】 都市計画区域内における一人当たり都市公園面積は、平成28年度までに14.0㎡/人とする。</p> <p>【目標値】 1人当たり都市公園面積：8.44㎡/人（H23末） → 13.74㎡/人（H26末） → 14.0㎡/人（H28末）</p>	H28	H26	[H26]GのNo. 518 [H27]GのNo. 531	社会資本整備計画の「八重瀬町都市公園整備計画」に位置づけ、社会資本整備総合交付金事業で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。
H2-1	<p>【目標】 自然公園施設の利便性をあげることにより、多くの県民に優れた自然景観や自然環境を楽しんでもらう。</p> <p>【定量的指標】 本部ふるさと歩道整備（若地原～大堂）の遊歩道L＝600mの整備</p>	H27	—	[H25]H2 [H26]H2 [H27]H2のNo. 1	
H2-2	<p>【目標】 自然公園を広く国民の利用に供し、国民の保健・医療及び教化に資するために必要な利用施設（休憩所、トイレ、探勝歩道、標識等）を再整備する。</p> <p>【定量的指標】 老朽化した具志頭園地休憩所の建て替え（再整備）</p>	H28	—	[H27]H2のNo. 2	